

藤細工内職ノ收入 一九四—一九五 何故に内職を嫌ふか一九五 興業物ノ観客普通多し一九五

争議團米を又給す一九五 争議中の郵便貯金無き農屋の状況一九五—一九七

藤永田スライキとの比較 一九七、 黄金の雨降ると呼ばれし因島 一九七

罷業の爲めの罷業か 一九八、 休校問題は由を敷問題一九八、加悦組大阪有米場一九八

六月十五日

伊藤嘉三郎の葬儀 一九九、 第十二回調停者と工場幹部との會見 一九九、

工場の譲歩案 一九九、 解決せざし理由二〇〇、 所の二方圓問題実行不可能 二〇〇、

串畑職長上阪 二〇〇、

六月十六日

兒童休校断行通知を岩本縣学務課長に送附す 二〇一、

六月十七日

争議團員兒童の休校断行と二十一日に至る迄の状況 二〇二、二〇三、工場も萬謝す二〇二

串畑職長外一名急遽帰島 二〇二、 本社態度強硬 二〇三、串畑職長宅の會合 二〇三、

妥協案作製争議團本部と訪ふ 二〇三、 争議團の態度強硬 二〇三、

関西総同盟の問題とすし稱す 二〇三、 大阪大政官組應援と田熊村に存と云ふ二〇三

縣旗本工場課長來場 二〇三

六月十八日

職長代表談判破裂の旨を資格者に報告す二〇四、第十二回争議批判大演説會と中庄村ノ開催す

同村長の嘆息 二〇五、

六月十九日

争議中に於ける入場船舶の行動 二〇五—二〇八、 之に對する争議團の宣傳 二〇八、

第十二回三庄所に於ける大阪鐵工所批判大演説會 二〇八、 資格者の出勤決議と争議團 二〇八、

資格者の答へ 二〇九、 争議團支部に全部出勤を命ず 二〇九、

大阪聯合會より寄附 二一〇、 投書、二一〇—二一一、 某醫師の言 二一一、

司法權の發動 二一一、 及送團長尾道に護送す 二一二、

工場長帰島 二一二、